

# 災害時要援護者 地域支え合い活動員会

2033年2月 定例 Zoom ミーティング

日時：2月20日(日) 13:30～

欠席者：林、西川、柿谷、望月、木村 参加者は画像に

## 1. 報告事項

- ① 災害時要援護者支援事業に関わる個人情報保護と活用に関する研修受講報告者を泉区役所に提出(1月17日)
- ② 災害時要援護者の安否確認訓練を実施(1月23日)
- ③ 来年度事業計画策定に向け、臨時会議を設営(1月29日)
- ④ 今年度事業報告・予決算 及び 来期事業計画 及び 予算：総務部へ提出
- ⑤ 更新名簿に基づき、「要援護者登録票」記入・提出依頼、新規登録者へ「わたしの災害対策ファイル」提供。この訪問で各ブロック毎の対象者を2月中に確定。ブロック別対象者表を3月作成。

## 2. 今後の計画・活動

- ① 「要援護者登録票」の回収・集約(上記1の⑤によるもの)
- ② 来期の組織・陣容：次ページに掲載。  
委員長 副委員長 各ブロック主担当、新メンバーとその配属
- ③ 柿谷氏からの依頼事項「平時の活動範囲」について  
1月29日臨時ミーティング(下記URL)で紹介した災害時要援護者支援の取組み①活動を始める前、②災害時に備えに相当するが、関係機関等との連携では、当面関係機関からアクションへの対応に限る。ラインで話題となった某要支援者への対応では、その特殊性について、概ね非対応に。マニュアルに載せるモノデナク、疑問の場合はメンバー相互に相談の範囲では。  
[http://www.ryokuen.gr.jp/external/rcn/fold/town\\_block/6/each\\_other/meeting/2022create\\_plan.pdf](http://www.ryokuen.gr.jp/external/rcn/fold/town_block/6/each_other/meeting/2022create_plan.pdf)
- ④ 安否確認時のシステム提案：b案で無料テストを実施したい。
  - a. 「LINE WORKS」：問い合わせの結果  
[安否確認 for LINE WORKS - LINE WORKS \(worksmobile.com\)](http://worksmobile.com)  
LINE WORKS の月額費用(1ID300円/月～)に加え、bot for LINE WORKS 登録ID数×200円 = 安否確認の月額費用(1ID200円/月～)の計1ID500円/月 20名×@500×12月=120,000/年
  - b. 防災トーク <https://www.bousai-talk.jp>  
初期設定費¥20,000+100名までの利用料¥9,600=¥29,600×税=¥32,560  
2年目からは、¥9,600×1.1=¥10,560のみ。  
要援護者も含めた人数を150名とすると、+¥3960=¥14,520  
※新規利用キャンペーン中で、1年間の初期設定費、利用料は無料に。  
懸念アル場合、テストとして有志で使ってみて、その後拡大するか、検討  
ここ毎年「震災対策技術展」に出展、今回このキャンペーンの話も聞いた。  
結論：b 防災トークを、1年間無料使用後、有料継続が条件であれば、1年間無料使用でなく、  
1～3月、無料テスト使用の要請。それが可能の場合、希望者を募ってテストに。  
(テスト使用参加辞退者はいなかった)

b/k	今期まで体制	来期		
		主担当	委員	
1 6	江尻、西川、遠山	江尻	小山田	住所が1Bの最南で新委員。
2 3	浅古、市川、望月	浅古	市川 遠山	住所は2B, 継続 住所が3B
4 5	林、前田忠、前田敏	林 前田忠	前田敏 西川	住所は4B 住所は1Bだが
7 8	栗原、大江、木村、柿谷	大江 栗原	林讓治	7,8は大江,栗原一緒に。林さんには遠いBで申訳ない
赤字は、今期退任者		今期入会員：小山田毅、林讓治		
浅古さんは副委員長に				
担当委員：西川、遠山、市川、前田(敏)、小山田4-15、林(讓) 21-5				
なるべく、自分の住所に近いところが、望ましい。				
矢張り、一度経験したBの変更は、好ましくない。				

